

試験結果報告書

血流量測定試験

2020年10月13日

合名会社 群馬長石 殿

遠赤外線応用研究会

ご依頼頂きました表題の件につきましてご報告申し上げます

記

報告書 No.220G- 365

本件についてのお問い合わせは、下記にご連絡下さい。

〒542-0081
大阪府中央区南船場4-9-11 順横ビル3F

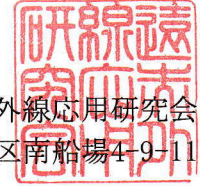
遠赤外線応用研究会
TEL 06-6251-7619

試験結果報告書

No. 220G- 365

2020年10月13日

合名会社 群馬長石 殿



遠赤外線応用研究会

〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-11

試験項目 貴陽石マイナスイオン発生器を使用した場合の血流変化を確認するため、未使用状態を対照とし、血流変化を経時的に測定した。

試験試料 貴陽石マイナスイオン発生器

試験条件 1) 測定日時 2020年10月12日
2) 測定環境 室温22℃ 湿度47%
3) 測定機器 日本電気三栄(株)ドップラー型血流測定装置

試験方法 健常な成年男子(68才)を被験者とし、まず10分間にわたり試験環境に生体を慣らした後、未使用状態で12分間の血流速度並びに血流量の変化を連続的に測定した。10分間休憩後、貴陽石マイナスイオン発生器を使用し、同様に測定した。

試験結果 レーザードップラー血流計にて測定したデータは、コンピューター処理により、血流速度並びに血流量のそれぞれの数値として示される。未使用状態に対する貴陽石マイナスイオン発生器の変化率を下表に示す。

	変化率	
血流速度	1.284 倍	28.4 %の増加
血流量	1.155 倍	15.5 %の増加